

南砺市の典型的な 二つのカイニヨを見学

8月12日(土)、カイニヨ(屋敷林)見学会を成川権士郎さん宅(砺波市高宮)と石崎力さん宅(南砺市和泉)で開き、二軒のカイニヨの形や、こだわり、歴史にふれ、沢山のヒントを受け止めることができた。石崎さん宅では途中で夕立にあって、広間から座敷にあげてもらい、屋内の見学時間が長くなってしまい、せつかくの植物園のようなカイニヨの内容に深く接することができず、残念だった。見学会には22名の会員が参加した。

オモテブラの杉 —成川さん宅—

「オモテブラの杉」が圧巻で、200年以上のS字状、とりわけ根元から途中まで45度の傾斜にあり、子どもの度胸試しの木として沢山の思い出の杉となっている。これがどうして倒木しなかったのか、またどうして残されたのか、まさに先人の木への思い入れ、執念の固まりである。

この杉と隣り合わせに、6本の大スギがあり、これを「座敷の外の大スギ」と呼んできたそうで、防風林としての大役を果たしているもの。その大スギと根をからみあって「オモテブラの杉」は、倒れなかったようでもある。このスギとの思い出や、一部が供木からのがれたわけや、スギカイニヨと「シコロ屋根」の母屋との調和や、子どもの時の体験など成川さんの熱い説明をもらった。

会員の和田健さんから、大スギ下の上便所あとのことや、オモテブラの杉は供木にならない木だったが、子どもの深い思い出の木として残された価値に注目したいこと、また、「デモスコ」のある家で、玄関の5色の石積、裸足で出入れするための飛び石の役目等について話しが加えられた。

カイニヨ植物園 —石崎さん宅—

石崎さん宅も供木後のカイニヨでその間に約30年かけて植物園のように沢山の樹木を入れ、四季をとおり花をつけるカイニヨをめざし、実にユニークで変化に富んだ屋敷林。

石崎さんは、園芸の先生で、その道の大家であることから、勉強材料を自分でつくり、体験したものをもって教えるというための実験室の場。入っている樹主は110種余りと屋敷林の中では、珍しい木も沢山入っていて、これほど種類の多い家は他にはない。(砺波市内で99種が最多)とにかく、石崎さんの屋敷林は狭くても広くてもこれからの屋敷林づくりのあり方、木の組合せを考える参考になる内容で、まさに教科書の間であった。大いにこれからの考える見本園として注目できた。石崎さん宅の広間や座敷を見せてもらい、中の特徴を和田健さんから説明を受け、あらためて見なおす会員も多くあった。

この見学会を北日本新聞が後日報道した。



成川さん宅で説明を聞く



石崎さん宅で説明を聞く



中島家で 18 年総会・22 名出席して 今年も カイニヨ掃除や見学会を

5月27日午後砺波カイニヨ倶楽部総会をチューリップ公園内の中島家のイロリを囲んで開いた。22名の会員が出席した。総会では、柏樹代表幹事が挨拶（別掲）し、進行した。天野事務局長が平成17年の活動と決算報告のあと、18年の行事計画として、①カイニヨ掃除の手伝い、②カイニヨ見学会、③砺波以外の散居見学、④小学生の屋敷林の写生展の橋渡し、を提案。何人かからの意見もふくめ、みんなで確認しあった。

総会の記念講演として「海外と比較した散居と生活」という演題で寺田洋二氏（南砺市 福光道の駅支配人）のお話を聞いた。

■講演の要旨

- ・ 中国へよく出かけるのでそことの比較で少し散居村にもかかかわる思いを話したい。
- ・ 中国にも散居はあるが、カイニヨがない、特に大木は全くない。
- ・ 散居は同一の目線では全くわかりにくい。
- ・ 生活者にとって上空からみる感じは全く描けない。
- ・ カイニヨの中へ子どもを意識的にひっぱりこむ仕掛けが大事だ。
- ・ 道の駅で農園を開設した。これから、「元気ふれあい農園」、「学校体験園」へとつなげたい。
- ・ 地場の野菜を道の駅で並べ注目されている。
- ・ カイニヨをとおした交流を計画していきたい。グリーンツーリズム等と連携して考えるとよい。
- ・ 中国から沢山の食品が入っているが、野菜は地元のものを食べる方がよい。

その後、会場を移し、開館直前の「散居村ミュージアム」の施設を見学、砂田龍次館長からいろいろ話を聞き、総会を終えた。

* * * * *

■柏樹代表幹事の挨拶

○カイニヨ倶楽部は発足10年の節目を迎える。継続は倶楽部の財産だし、この間にいろんなことに関わった

①田園空間事業の展開と行政が大きく変わった

②23号台風でカイニヨは大被害を受けたが、復旧への努力もめざましかった

③小学校の教育の中にカイニヨと散居がとり入れられ、それにも参画した。

○カイニヨ倶楽部の目標と活動が今の時代に認められ「地域社会賞」や「農村文化賞」をいただいた。

○カイニヨの生き方に学び、今の「物」中心の異常発展についていけない人間の思考との格差・矛盾を是正していくことが大事だ

○若い会員の力を発揮してもらい、金属疲労の箇所を補修し、活動を続けよう。

* * * * *



中島家での総会の様子